

# 平成22年国勢調査

## 従業地・通学地による人口・産業等集計結果（神奈川県概要）

平成22年10月1日現在で実施された「平成22年国勢調査」の従業地・通学地による人口・産業等集計結果が平成24年6月26日に総務省統計局から公表されました。

神奈川県分をとりまとめた概要は、次のとおりです。

### 1 昼夜間人口……昼間人口が夜間人口を増減率で上回る

昼間人口は8,254,193人、夜間人口（常住人口）は9,048,331人となっています。

昼間人口は、平成17年国勢調査（以下「17年調査」という。）の7,905,219人に比べ348,974人、4.4%の増加、夜間人口は、17年調査の8,753,034人に比べ295,297人、3.4%の増加となっており、増減率では昼間人口が夜間人口を上回っています。

また、昼間人口は、全国の昼間人口128,057,352人の6.4%で、東京都、大阪府に次いで、全国第3位となっています。

【表1参照】

### 2 昼夜間人口比率……本県は91.2（0.9ポイント上昇）、6市区町が100以上

昼夜間人口比率は91.2で、17年調査の90.3に比べ0.9ポイント上昇しています。

また、県内の市区町村のうち、昼夜間人口比率が100以上となっているのは、6市区町（横浜市西区、横浜市中区、箱根町、中井町、川崎市川崎区、厚木市の順）で、最も高いのは横浜市西区の179.7となっています。

なお、最も低いのは真鶴町の73.2、次いで二宮町の74.2となっています。

【表2・9参照】

区分	平成22年	平成17年	増減数	増減率
昼間人口	8,254,193	7,905,219	348,974	(4.4)
夜間人口	9,048,331	8,753,034	295,297	(3.4)
昼夜間人口比率	91.2	90.3	0.9	

(注) 平成17年は年齢不詳を除く。

	平成22年		平成17年		増減数
	人口	割合	人口	割合	
全国	128,057,352	100.0	127,285,653	100.0	771,699
神奈川県	8,254,193	6.4	7,905,219	6.2	348,974
東京都	15,576,130	12.2	14,977,580	11.8	598,550
埼玉県	6,373,489	5.0	6,158,964	4.8	214,525
千葉県	5,560,489	4.3	5,340,259	4.2	220,230

(注) 平成17年は年齢不詳を除く。

### 1 都3県の昼夜間人口比率

区 分	平成22年	平成17年	増減(ポイント)
全 国	100.0	100.0	-
神奈川県	91.2	90.3	0.9
東京都	118.4	120.6	△ 2.2
埼玉県	88.6	87.5	1.1
千葉県	89.5	88.5	1.0

### 3 流出・流入人口……17年調査に比べ流出人口は減少し、流入人口は増加

他県を従業地・通学地として本県から流出している人口（流出人口）は、17年調査の1,143,167人に比べ44,260人、3.9%減少の1,098,907人（通勤人口965,793人、通学人口133,114人）で、17年調査に引き続き全国第1位となっています。

また、本県を従業地・通学地として他県から流入している人口（流入人口）は304,769人（通勤人口255,128人、通学人口49,641人）で、17年調査の295,352人に比べ9,417人、3.2%増加していますが、通学人口は355人、0.7%減少しています。

この結果、流出超過人口は794,138人となっています。

【表1・3・4・9参照】

区 分	平成22年	平成17年	増減数	増減率
流出人口	1,098,907	1,143,167	△ 44,260	△ 3.9
他県へ通勤	965,793	1,002,452	△ 36,659	△ 3.7
他県へ通学	133,114	140,715	△ 7,601	△ 5.4
流入人口	304,769	295,352	9,417	3.2
他県から通勤	255,128	245,356	9,772	4.0
他県から通学	49,641	49,996	△ 355	△ 0.7
流出超過人口	794,138	847,815	△ 53,677	△ 6.3
通 勤	710,665	757,096	△ 46,431	△ 6.1
通 学	83,473	90,719	△ 7,246	△ 8.0

(注) 人口には15歳未満を含む。

区 分	流出人口	流入人口	流出超過人口
他 県	1,098,907	304,769	794,138
内 訳			
(東京都)	1,049,341	228,981	820,360
(埼玉県)	12,391	25,659	△ 13,268
(千葉県)	13,990	23,788	△ 9,798
(その他)	23,185	26,341	△ 3,156

(注) 人口には15歳未満を含む。

#### 4 15歳以上就業者・通学者の通勤・通学先……63.3%が他市区町村へ

15歳以上就業者・通学者は4,616,588人で、自市区町村での従業・通学（自宅での従業を含む。）が1,680,767人（就業者・通学者数の36.7%）、他市区町村での従業・通学が2,894,905人（同63.3%）、うち他県での従業・通学が1,087,143人（同25.3%）となっています。17年調査と比べると、自市区町村での従業・通学が275,389人、14.1%の減少、他市区町村での従業・通学が52,347人、1.8%の増加、うち他県での従業・通学が44,202人、3.9%の減少となっています。

【表3参照】

#### 5 産業別15歳以上就業者の従業地別割合……他市区町村では、「情報通信業」が88.7%で最も高い

産業別15歳以上就業者の従業地別割合で、自宅・自市区町村で従業している人の割合は、「漁業」が90.9%と最も高く、次いで「農業、林業」が90.1%、「宿泊業、飲食サービス業」が52.8%となっています。

また、他市区町村で従業の割合は、「情報通信業」が88.7%（うち他県で従業の割合は61.1%）で最も高く、次いで「金融業、保険業」が84.3%（同48.0%）、「電気・ガス・熱供給・水道業」が82.3%（同25.0%）となっています。

【表5参照】

#### 6 年齢階級、男女別15歳以上就業者……他市区町村での就業は男性の割合が高い

従業地が他市区町村にある15歳以上就業者の割合は、男性で68.9%、女性で52.4%となっており、男性は女性に比べ他市区町村での従業の割合が高くなっています。年齢階級別にみると、男性は他市区町村での従業の割合が20～64歳の各年齢階級で60%以上となっていますが、65歳以上では自宅・自市区町村で従業の割合が50%以上となっています。

一方、女性は他市区町村での従業の割合が15～44歳で50%以上となっていますが、45歳以上では自宅・自市区町村での従業の割合が50%以上となっており、65歳以上では70%を超えています。

【表7参照】

年齢階級別従業地別15歳以上就業者の割合

区 分	男 (%)		女 (%)	
	自宅・自市区町村で従業	他市区町村で従業	自宅・自市区町村で従業	他市区町村で従業
<b>総数</b>	<b>31.1</b>	<b>68.9</b>	<b>47.6</b>	<b>52.4</b>
15～19歳	51.9	48.1	48.7	51.3
20～24	38.5	61.5	32.7	67.3
25～29	29.7	70.3	27.9	72.1
30～34	26.4	73.6	32.5	67.5
35～39	26.1	73.9	41.9	58.1
40～44	25.5	74.5	49.3	50.7
45～49	25.1	74.9	52.5	47.5
50～54	26.6	73.4	54.6	45.4
55～59	29.8	70.2	58.1	41.9
60～64	35.7	64.3	62.3	37.7
65歳以上	53.4	46.6	70.4	29.6

7 15歳以上自宅外就業者・通学者の利用交通手段……利用割合は鉄道・電車と乗合バスの併用では全国第1位、鉄道・電車のみでは東京都に次いで全国第2位 <10年ごとの調査項目>

15歳以上自宅外就業者・通学者の利用交通手段別では、「鉄道・電車だけの利用」が1,379,642人と最も多く、利用交通手段のうち33.1%を占め、次いで「自家用車だけの利用」799,227人(同19.2%)、「鉄道・電車と乗合バスの併用」505,849人(同12.1%)の順となっています。

このうち、「鉄道・電車と乗合バスの併用」の割合は、全国第1位となっており、「鉄道・電車だけ」の利用割合も、東京都に次いで全国第2位となっています。

なお、全国では、「自家用車だけの利用」の割合が最も高く利用交通手段の46.5%となっています。

【表8参照】

1都3県の利用交通手段別割合 (%)

区分	利用交通手段が1種類					利用交通手段が2種類	
	徒歩	鉄道・電車	乗合バス	自家用車	オートバイ又は自転車	鉄道・電車+乗合バス	鉄道・電車+オートバイ又は自転車
全国	7.1	16.1	2.5	46.5	14.6	3.8	3.4
神奈川県	8.3	33.1	3.8	19.2	13.0	12.1	4.2
東京都	8.6	44.5	2.5	9.4	16.5	7.3	5.8
埼玉県	5.4	25.4	1.0	32.3	16.4	5.4	7.1
千葉県	5.4	27.7	1.5	34.2	11.4	6.5	6.0

全国における利用交通手段別順位 (%)

利用交通手段が1種類									
順位	徒歩	順位	鉄道・電車	順位	乗合バス	順位	自家用車	順位	オートバイ又は自転車
1	長崎県(11.5)	1	東京都(44.5)	1	長崎県(12.1)	1	山形県(77.6)	1	大阪府(27.5)
2	北海道(11.1)	2	神奈川県(33.1)	2	福岡県(6.3)	2	富山県(77.4)	2	愛媛県(27.1)
3	沖縄県(10.5)	3	大阪府(28.6)	3	沖縄県(6.2)	3	秋田県(75.4)	3	京都府(25.9)
7	神奈川県(8.3)			9	神奈川県(3.8)	45	神奈川県(19.2)	20	神奈川県(13.0)

(%)

利用交通手段が2種類			
順位	鉄道・電車+乗合バス	順位	鉄道・電車+オートバイ又は自転車
1	神奈川県(12.1)	1	埼玉県(7.1)
2	東京都(7.3)	2	大阪府(6.7)
3	奈良県(6.7)	3	千葉県(6.0)

7 神奈川県(4.2)